



よろんちょう 議会だより

第156号

2025年／令和7年8月14日

発行 与論町議会

編集 広報常任委員会

〒891-9301

鹿児島県大島郡与論町茶花1418-1

TEL 0997 (97) 3201

FAX 0997 (97) 4196



第15回ヨロン黒牛まつり 場所：農畜産物流通センター

補正予算は2億5406万円

(P2)



陳情審査・発議・意見書

(P3~P4)

奄美群島市町村議会議員大会

(P5)

一般質問

4人が登壇！町政を問う

(P6~P9)

一般会計予算は 59億0808万円 (2億5406万円を追加)

主な補正

こども未来総務費	4,745万円
塵芥処理費	1,172万円
最終処分場運営費	851万円
中央公民館費	△1,264万円

令和七年第二回定例会を、六月十六日から六月二十日までの五日間の日程で開いた。六月十六日は、諸般の報告の後、一般質問があり、4名の議員が町政全般にわたり活発な議論を交わした。その後の議案審議では、条例4件、補正予算4件を原案の通り可決した。その後、その他2件も可決した。六月二十日の最終本会議では、条例1件を原案の通り可決し、その他3件も可決した。その後、各常任委員長から陳情審査の報告があり、1件を採択、1件を不採択とした。その後、発議2件を原案の通り可決し「給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書」を関係省庁に提出した。

一般会計補正予算

会計名	補正前	補正額	計
一般会計	56億5401万円	2億5406万円	59億0808万円

特別会計補正予算

会計名	補正前	補正額	計
国民健康保険特別会計	8億4754万円	655万円	8億5440万円
介護保険特別会計	7億4584万円	78万円	7億4663万円
後期高齢者医療特別会計	8612万円	94万円	8706万円

一般会計補正予算・特別会計補正予算については、切り捨て処理のため合計額は一致しない。

陳情審査・発議・意見書

総務厚生文教委員会

◎ヨロンSC会員特典

に関する陳情書

提出者

与論町茶花三七五―三

田中 正廣

不採択理由

ヨロンSC会員特典は、ヨロンSC独自のサービスである。町が指定管理としてヨロンSCに委託している範囲とは全く別であり、独自のサービスの拡充や制限をかけることはできないと、全会一致で不採択にすべきものと決定した。

環境経済建設委員会

◎町道高校線の改良舗装整備についての陳情

提出者

与論町朝戸一四三二

朝戸自治公民館長

池田 吉光

与論町麦屋三四六〇

城自治公民館長

吉井 満秀

与論町朝戸五七六

叶自治公民館長

町田 浩隆

採択理由

通学用道路の安全面、地域農業用道路や災害避難用道路としての必要性が高いにも関わらず、幅員が狭く砂利道路のため早期の改良舗装整備が必要であり全会一致で採択すべきものと決定した。



未舗装の町道高校線

発議

与論町議会委員会条例の一部を改正する条例

(提案理由)

与論町課設置条例の

一部を改正する条例

(令和7年3月4日条例第5号)に伴い、本

年4月1日にこども未

来課が設置された。こ

のため、与論町議会委

員会条例について所要

の改正を行うものであ

る。

採決の結果原案の通

り可決された。

給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書

学校給食は、子どもたちの日々の食事の3分の1を占め、成長期にある児童・生徒の心身の発達において極めて重要な役割を果たしている。しかしながら、現在、物価高騰の影響により、一部の自治体では給食の質および量の確保が困難となつて

いる実態がある。このような中、国による給食無償化の実現は、給食の安定供給と、子育て支援や少子化対策への貢献という両面から、極めて重要な政策的意義を有する。政府は、小学校における全国一律の給食無償化を令和8年度から実施し、中学校についても可能な限り早期の実現を図る方針を示している。しかしながら、全国一律の無償化により、自治体においては限られた予算内で給食費をまかなう必要が生じ、その結果、物価高騰や米不足等の影響により、給食の質や量が低下しかねず、自治体ごとに格差が生じるおそれがある。したがって、無償化は家庭の経済的負担軽減という側面のみならず、給食の質と量の維持・向上と

いう観点からも実施されなければならない。給食の質の充実については、地産地消の推進や食育の強化、有機食材の使用拡大を求める声が高まっている。



小学1年生の給食風景

一方で、日本の食料自給率は38%にまで低下しており、第一次産業の振興や食育の観点からも、地産地消のさらなる推進が必要である。加えて、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」では、2050年までに化学農薬の使用量を50%低減、化学肥料を30%低減し、有機農業の

取組面積を全体の25%に拡大することを目標としており、有機食材の使用拡大は、環境の持続可能性や健康増進の観点からも、行政が先導的に取り組むべき重要課題である。よって、国による給食無償化の実施にあたっては、すべての児童・生徒の健やかな成長を促す上において、給食の質および量の担保を可能とする十分な予算措置を講じるとともに、自治体格差が生じないよう下記の事項について特段の取り組みを強く求める。

記

一 給食無償化の実施にあたっては、物価高騰等の影響により給食の質や量が低下することのないよう、国による適切な制度設計と十分な予算措置を講じること

一 地産地消の推進、食育の充実、有機食材の使用拡大など、質の高い給食を安定的に提供できる体制を構築すること

一 長期欠席児童生徒や、学校外で学ぶ子どもたちにも給食無償化の恩恵が及ぶよう、柔軟かつ実効性のある支援制度を整備すること

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和7年6月20日
鹿児島県与論町議会

トピックス

大島地区スポーツ大会

◆団体競技の部

◎バドミントン(女子)

優勝

◎カヌー(女子)

優勝



カヌー女子



バドミントン女子

◎テニス
第三位

◎卓球(女子)
第三位

◎バスケットボール(女子)
第三位

◎サッカー
第三位

◆個人競技の部

◎水泳自由形25m(70歳代)
優勝 河野 秀光

◎卓球
優勝 川上 純加

◎女子40歳代
優勝 川上 純加

◎女子60歳以上
第二位 裾分すみ子

◎女子一般
第二位 金村 宥那

◎女子30歳代
第三位 内野 綾香

◎男子60歳以上
第三位 大田 英勝

◎テニス

◎女子30歳以上
優勝 高橋 彩香

◎男子30歳以上
第二位 永吉 峻章

◎男子45歳以上
第三位 山本 知弘

◎男子45歳以上
第三位 竹森 靖

◎ゴルフ60歳以上
第二位 町 哲裕

大島地区中学総体

◎卓球女子
第二位

◆個人競技の部

◎卓球男子
優勝 白石 逞真

◎卓球女子
優勝 裾分 咲耶

◎卓球女子
第三位 川畑 真央

◎陸上男子
共通3000m

◎陸上男子
優勝 池田明日登

◎陸上男子
3年1500m

◎陸上男子
優勝 池田明日登

◎陸上男子
共通800m

◎陸上男子
優勝 杉 健太郎

◎陸上男子
2年1500m
優勝 杉 健太郎

て、池田明日登選手は共通3000mで第6位、3年1500mで第8位、杉健太郎選手も2年1500mで第6位と健闘した。



池田選手と杉選手

お詫びと訂正

議会便り第155号10ページ、健康長寿課・保健センター・地域包括支援センターでのやりとりの中、带状疱疹のワクチン接種の件で、(10歳以上は全員対象となっている。)とあるのは、(100歳以上は全員対象となっている。)の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。

第66回奄美群島市町村議会議員大会

奄美群島成長戦略ビジョン2033の実現を期する。



第66回奄美群島市町村議会議員大会

去る5月20日、伊仙町総合体育館において、第66回奄美群島市町村議会議員大会が県選出国会議員や県議会議員、各市町村長等、来賓出席のもと盛大に開催された。

5名の自治功労者表彰の後、議事に入り、経過報告の後、奄美

群島12市町村において策定された奄美群島成長戦略ビジョン2033のもと、「つなぐ宝」「稼ぐ力」「支える基盤」の3つの柱を基軸とし、各種施策に継続的・広域的に取り組むとともに、歴史的・文化的につなぐの深い沖縄との連携強化を

図り、奄美群島の自立的で持続可能な発展の実現と、地方創生による地域の活性化を期するとともに、市町村議会として地域住民・行政と一体となって推進し、全力を尽くすことを力強く宣言した。

その後、提出議題について、それぞれ代表者から提案理由の説明がなされた。

各地区関係では、① 亀徳港における耐震強化岸壁整備について（徳之島町・天城町・伊仙町）、② 持続可能な部活動地域展開等について（和泊町・知名町・与論町）、③ 国道58号（奄美市住用町役場・網野子トンネル起点間、勝浦・阿木名間のトンネル化）の改良促進について（大和村・宇検村・瀬戸内町）、④ 離島地域における物価高及び燃油価格差の是正について

（奄美市）、⑤ 東海岸バイパスルート（龍郷町・奄美市・瀬戸内町）の整備について（龍郷町・喜界町）の5項目であり、議長会からは、奄美地域における持続可能な地域医療の確立についてがあり、提出議題は全て採択された。

最後に、① 奄美群島成長戦略ビジョン2033の実現、② ビジョン2033を着実に推進するための奄美群島振興交付金の充実、③ 地理的・歴史的・文化的につなぐの深い沖縄との交流・連携の強化、④ 世界自然遺産地域を含む奄美群島国立公園の保護管理及び持続可能な利用の推進、⑤ 情報通信ネットワークの整備・充実、⑥ 交流人口、関係人口拡大に向けた施策の推進と更なる支援先の拡充、⑦ 道路・港湾・空港な

ど交通基盤の整備・充実、⑧ 上下水道・公営住宅等住環境の整備・充実、⑨ さとうきび・園芸作物など農業基盤の整備・充実、⑩ 重要病害虫、特殊病害虫、不被害虫等対策の充実・強化、⑪ 本場奄美大島産業の活性化、⑫ 災害対策推進と名瀬測候所の地方気象台格上げ、⑬ 保健医療・社会福祉の充実・強化、⑭ 地域を支える人材の確保・育成、教育の推進、⑮ 独立行政法人奄美群島振興開発基金の充実・強化の15項目を決議して大会を終えた。

議員研修会では、「奄美群島の挑戦〜自然・文化・農業を活かした新しい価値創造と未来への道筋〜」と題して内閣府沖縄総合事務局運輸部長併任沖縄観光総合施策推進室長・星明彦氏を講師に迎え講演が行われた。

舟安良町

4人の議員が登壇、町政を問う



吉田 剛議員

ふるさと納税を通じた財源確保の今後は 町長 新システム導入と丁寧な対応で寄付拡大に努める。

ふるさと納税
吉田議員 ふるさと納税による寄付金は令和3年の1億40万円をピークに減少傾向にある。一方で本町では給食センターの建替え、中央公民館や共同墓地の整備、各学校の修繕など、多額の経費を要する事業が見込まれている。こうした状況で踏まえ、歳入の一助としてふるさと納税の増加が重要と考えるが、

減少傾向にある現状に対し、どのような対策を講じているのか伺いたい。

町長 個人版ふるさと納税については、令和6年度は増加に転じ約1億4千万円の寄附をもらったところである。増加の要因としては、広報活動や中間事業者との連携強化、窓口サイトの増設、返礼品に関する事業者説明会や中間事業者による新規事業者向け説明会の開催なども増加に寄与したものと考えている。

今年度は、「ロケふる（現地決済型ふるさと納税）」の導入や、

東京や大阪での「ふるさと納税大相談会」に出店し、新規の寄附者獲得等に努めていく。

また、企業版ふるさと納税については、令和6年11月から受け

入れを開始し、3社から2千130万円の寄附をもらったところである。

今後も、ふるさと納税の理念を大切に、本町のまちづくりを応

援してもらえよう努めるとともに、ふるさと納税を申し込み易い環境づくりや、返礼品の充実、寄附者や中間事業者との丁寧なやりとり等に努めていく。



ロケふる（現地決済型）



希少!あま〜い!
南国のリンゴ 3~6個 1kg
ホワイトサポテ

返礼品のホワイトサポテ

東與舎地区ため池周辺の豪雨対策は 町長 冠水軽減できる事業の導入を検討する。



遠山勝也議員

**東與舎地区ため池
周辺の豪雨対策**

遠山議員 昨年の豪雨により発生した東與舎池周辺の崩落や陥没、浸透ますへの被害の復旧が一段落したが、県道やグラウンド、保育園等に囲まれた広大な窪地の状況は変わらず、今後、同様の被害をおこさないためにも豪雨による水の排出に更なる対策が必要だとの声があるが、その対応について見解を伺いたい。

町長 現在は、令和6年11月に発生した線状降水帯を伴う大雨について、農地等の冠水状況の整理を行っている。東與舎地区の地形

的な条件により、農地等の冠水軽減ができる導入可能な事業の検討を進めながら、令和8年度に基本構想の策定を予定している。



東與舎ため池

基本構想策定後は、事業化に向けた協議等を実施し、関係機関に対し協力をお願いしていく。

**ウプインジュの
豪雨対策**

遠山議員 現在、県道脇の浸透池の整備が進められ、近くウプインジュの拡幅も整備され豪雨時の排出量も大きく期待されるが、製糖

会社ヤード前から観光ホテル付近の県道に向かう箇所は狭いままであり、流れを止めてしまうのではとの声があるが、その対応について見解を伺いたい。

町長 ウプインジュ地区の排水路については、農村地域防災減災事業（用排水施設整備）で令和5年度から浸透池の整備を行っている。順次排水路の改修工事を行い、令和12年度までの工期予定で東側台地からの雨水をカットして下流域への負荷を抑制していく計画となっている。

なお、地区内排水路の現状として、上流域で水路の基準を満たさない箇所があり、その整備も実施する。

指摘された箇所周辺は定期的に水路内の堆積物撤去、雑木の伐採等の維持管理作業を実

施しているが、昨年の豪雨に基づき本年度から点検回数を増やし、維持管理の徹底に努めていく。

**ゴミ集積所周辺の
良好な景観形成**

遠山議員 現在、各集落の管理のもと、道路脇や電柱の下、畑の片隅等がゴミの集積所として使用されているが、柵等の遮蔽物がないためゴミを積んでいる風景が直接目に入ってきてやすい。本町の街並みの景観も重要な観光資源であり、景観上のマイナス要因はなるだけ減らすべく、目隠しの柵等、町全体で対策を講じる考えはないか伺いたい。

町長 現在、306カ所の集積所で使用している場所は殆どが私有地である。一部コンクリートブロックやパレ

ットで作った集積所がある以外はゴミ袋直置きとなっている。特に街道沿いの商店街地区では、各事業者の店舗前に直置きされており、目隠し等の工作物を設置する場合にゴミ収集時以外の期間も含めた通年でのスペース確保が必要となるため、地権者や商店街の方々にも負担が生じることが想定される。



ゴミ集積場所

ゴミの収集に係る景観の改善については、その手法を自公連や通り会の意見をもらいながら検討していく。

介護保険事業の利用者ニーズへの対応は

町長 高齢者や家族が安心できる環境づくりを進める。



高田豊繁議員

介護保険事業の現状と課題

高田議員 町内の介護保険事業において、利用者ニーズに対する現状と課題及び今後の対応策を伺いたい。

町長 本町では、24

時間体制の在宅支援を目的に、訪問看護事業所や在宅支援診療所、小規模多機能型居宅介護事業所が相次いで開設され、在宅支援の体制が整いつつある。

一方、通所介護サービスは人材不足により利用が困難となっている。今後は、人材の育成・確保の支援を継続し、高齢者や家族が安心して暮らせる環境づく

くりを進める。

高田議員 高齢化社会の進行に伴う介護保険利用者増大に対し、安定的で持続可能な業務運営のためには、介護専門職であるケアマネや介護福祉士等のスキルスタッフの次世代要員対策が急務の課題と思われるが、今後の対策と計画を伺いたい。

町長 本町では、中学校や高校と連携し、医療・介護・福祉等の職業講話を実施したり、実習生を受け入れ若年層の人材確保・育成に努めている。また介護サービスの資格取得や更新の際の経費の一部を助成している。また、地域包括ケアシステムの推進を図り、介護専門職が働きやすい環境整備に努めていく。

国、県の子育て関連

施策と連動した町

子育て支援対策の推進

高田議員 子育て支援対策についてこども家庭庁が計画していることも未来戦略「加速化プラン」に即し、迅速かつより前進的な子育て環境構築を図る必要があると思われるが、今後の対策と計画を伺いたい。

町長 本町では、児童手当の所得制限撤廃及び支給対象期間の高校在学期までの拡大、出産育児一時金上限50万円の支給、妊婦への妊娠・出産時からの支援策を実施している。今後は、「第3期与論町子ども・子育て支援事業計画」をもとに、全ての子どもと家庭が安心して生活できる環境づくりに取り組む。

合同納骨堂整備計画と既存共同

墓地の管理体制

高田議員 合同納骨堂

の整備事業は、埋蔵文化財調査等の面から整備計画が遅延しているが、今後の計画を伺いたい。

町長 当初建設予定の「ブジョウ墓」が発掘調査の結果、町の史跡として保存される見通しのため、墓地基本計画に提示された他の4地区についても検討している。法令手続きが難航する場合は新たな候補地も検討する。

今後は令和7年に用地確保と設計業務の発注、令和8年から9年に工事を完了し、令和10年の供用開始に向けて取り組んでいく。

高田議員 茶花墓地霊園以外の各地域の共同墓地について、施設用地の公有地化や墓地管理台帳の整備とともに

に、施設の維持管理等

について、自治公民館等との連絡会議も必要と思われるが今後の計画について伺いたい。

町長 町内にある12の共同墓地のうち、全て町有地化されている墓地が5箇所、一部町有地化されている墓地が2箇所あり、茶花墓地以外で町有地化されている墓地は町が直接管理している。



茶花墓地

一方、民有地の共同墓地は管理者不在で問題も出ているので、町有地化を図っている。今後は、各公民館と協議を重ね、共同墓地の持続可能な管理体制構築を目指していく。

子育て支援の目指す未来の展望は何か

町長 安心して子どもを産める環境を整えることである。



池田理恵議員

子育て支援政策

池田議員 こども未来課の新設に伴い、一般的には子どもたちの健全育成と、子育て世帯支援事業の立案・実施がより具体化されると期待しているが、与論町としての方向性や、目指す未来の展望について尋ねたい。

町長 本町が目指す未来の展望は、安心してこどもを生み育てることができる環境を整え、地域がこどもをまんなかにしてつながり、全てのこどもたちが自分で未来を選択できるまちをめざす。方向性については、「第3期与論町子ども

・子育て支援事業計画」をもとに、「こどもの育ち」「親としての育ち」「地域での支え合い」「子育て環境の充実」の4つの視点で進めながら本町にあった持続可能で効果的な施策の推進に取り組んでいく。



新設されたこども未来課

池田議員 子育てにおいて、子どもの年齢にに応じて必要なものが異なるが、今後どのような支援の導入や拡充について実施・検討をするのか尋ねたい。

町長 妊娠・出産期の支援は、離島地域出産支援事業補助金や妊婦

のための支援給付金、出産育児一時金等の支援を引き続き実施していく。また「ホームスタート・ゆんぬ」の継続した実施と併せて「こども家庭センター」を設置し、専門スタッフによる相談体制の強化を図っていく。乳児期への支援は、「こども未来推進ニーズ調査」で母親の就労状況が非常に高く、保育ニーズも高まるのでこども園や児童発達支援センターの人材確保及び育成に取り組み、体制の強化を図っていく。

持続可能な島づくり

池田議員 国のこども未来戦略方針に基づき、2026年4月から小学校の給食を無償化する方針を示しているが、財源確保や質の低下などの問題視もされている。本町として、

給食の無償化についてどのように捉えているのか尋ねたい。

教育長

文部科学省の「給食無償化に関する課題の整理」によると、自治体間の財政力や政策の差異で格差が生じているので、国が給食無償化を統一的に実施することは歓迎すべきである。本町では、主食部分のごはんやパン、麺類及び牛乳は町が負担しており、保護者の負担は、小学生が1食あたり190円、中学生が220円と定めている。国が進める給食無償化は、財源や公平性の確保などの問題もあるが、少子化対策としても有効な政策であり、早急に実現することが望ましい。

池田議員

本町では、地産地消にも力をいれているが、農業、環境、

社会、経済の持続可能性を統合的に考えたアグロエコロジーという概念も取り入れ、生産者の方々と、家庭菜園をしている方々への支援や拡充などの考えがないか尋ねたい。

町長 本町の取組のひとつに、堆肥センターや敷料化ラブセンターで家畜排泄物の堆肥化や不要雑木の敷料化を行い、資源循環型農業を進めてきた。また、緑肥活用による土づくりにも補助事業を実施しており、多くの農家に利用してもらい、持続可能な資源循環型農業を推進していきたい。今年度は、国の物価高騰対策支援事業を活用した事業も実施しており、有機肥料の購入費助成も行っており、入費助成も行っており、多くの農家に積極的に活用してもらいたい。



松崎 裕氏

わたしもひとこと

プロフィール

○氏名 松崎 裕
○住所 与論町茶花
○職業 沖永良部警察署
与論幹部派出所長

「愛する与論島の
安心・安全」
私が与論幹部派出所
に着任して、早いもの
で1年が過ぎました。
今回、寄稿の機会を
いただきましたので、
この1年を振り返り、
一言述べさせていた
だきます。

昨年三月二五日、フ
エリーに揺られなが
ら、目の前に広がる抜
群の透明度を誇る海、
眩しいほどの白いビー
チに「鹿児島にこんな
に美しい島があったの
か」と感動したことを
今でも忘れません。そ
して、日々出会う与論
町民の方々の温かい心
に触れるうちに、妻子
と離れて暮らす寂しさ
はいつの間にか消えて
いきました。

また、町全体で楽し
む与論十五夜踊り、美
しい百合ヶ浜、ウミガ
メと出会ったシュノー
ケリング、夜空いっぱ
いに広がる満天の星な
ど、私は与論の魅力に
どっぷりと浸かってい
きました。



与論幹部派出所の皆さん

す。このように、私は充
実した与論ライフを過
ごした一方で、力不足
を痛感した一年でもあ
りました。特に悔しい
思いをしたのは、交通
事故抑止についてで
す。というのも、私が
赴任してから、交通死
亡事故2件、重体事故
(当事者は後に死亡)
1件が発生し、与論町
民や観光客の尊い命が
犠牲になりました。私
は複数の遺族と対面
し、言葉では言い表せ
ない遺族の深い悲しみ
に触れ、何度も辛い気
持ちになりました。最
愛の人が「いつてきま
す」と元氣な姿で出て
行ったはずなのに、「た
だいま」という声を二
度と聴けない遺族の心
情を察すると、毎回、
「もつと私にできるこ
とがあったのではない
か」と胸が張り裂けそ
うな思いでした。誰も
交通事故を起こしたく
て起こす人はいませ
ん。しかし、善良な与
論町民等が交通事故の
当事者となっているこ
とは事実です。

私は、「誠の心」を
持つ与論町民の皆さん
なら他人のことを思い
やり、交通ルールを重
んじて交通事故ゼロの
達成が可能だと考えて
います。今後、与論幹
部派出所員一同は、与
論町民や与論に関わる
すべての方々の安心・
安全を守るために、よ
り一層、地域住民の方
々や関係機関・団体等
との更なる連携強化を
図り、交通事故防止の
ほか、犯罪の未然防止
の取組を推進してい
きますので、皆さんのご
協力をよろしくお願い
いたします。

《編集後記》

今年の梅雨入りは違
例で、五月十六日九州
南部が全国トップで梅
雨入りした。九州南部
が最初となるのは統計
史上初めてで、沖縄・
奄美以外の地が最初に
梅雨入りするのは19
63年の東海地方以来
62年ぶりのことであ
った。しばらく大きな台
風も来ていない。ひよ
つとしたら今年あたり
大きな台風が来るかも
知れない。備えを万全
にしたいものである。
去る六月五日に行わ
れた日本学生陸上競技
対校選手権大会(イン
カレ)で、本町古里出
身の竹村蒼汰選手(中
京大4年)が、男子や
り投げで準優勝に輝い
た。大学卒業後は一般
企業へ就職予定だが、
実社会でも大きな飛躍
を期待したい。(大田)